

7/21 山田 桂一郎氏 講演会 レポート

山田先生の将来を見据えた、皆が賛成できる地域経営・地域構想のお話しに観光業に身を置いているというだけでなく、一下郷町民としてとても心動かされました。私たち子を持つ世代が 80 代になったとき、はたしてこの町はあるのだろうか？子供や孫たちは幸せに暮らしているのだろうか・・・？

先生のお話しは、湯野上温泉や大内宿、下郷町だけのことではなく、日本の将来に通じる大事な内容だと感じ危機感を持ったというのが率直な感想です。昔のように、湯野上温泉だけがとか、大内宿だけが、といった考え方ではもうやっていけない、と改めて感じました。

幸いにも私の周りは子供の保育所や学校を通しての親たちの触れ合いがあり、地区や職業にこだわりなくネットワークを築いている人が多いので、皆が価値組になれるよう、年配の方のご意見もしっかり伺いつつ、農業も工芸も宿も飲食店も町の商店も経営が成り立つように、皆で話し合っていけるように努めていきたいと思います。

そして、お話にもいただいたように、旅館組合、民宿組合、商工会、町と別々に集まって話し合うより（もちろん内輪のことはそれぞれでいいと思うのですが）勉強会や話し合いをなるべく一緒に進めていくことが良いと思いました。大変失礼なのを承知で申し上げますが、じゅうねんの商品はイマイチ子供や主婦たちに受けるように感じません・・・。

郷土料理を自己満足に旅行のお客様にお出しするのではなく、私たちがおいしくていつも食べてるからお客様にも自信を持って食べてもらいたい！という方法が共感出来ました。（そんな私は料理が苦手なので（涙）簡単においしく出来たらすぐ飛びつきます！）試作品を子供たちにふるまって意見を聞く方法もすばらしいですし、もしそれで地道に取り組んでいけば、メディアがただで取材に来て宣伝になりそうです♪

私の考えですが、後は、やはり町に人を増やしていくことを考えなければいけないと思います。子供が育て安ければ、都会や近隣の都市から移住する方が増えるかもしれません。でもそれだけではなく、やはり教育だと思います。下郷の良さ、もちろん自然だけじゃありません、「こんなに町が豊かだから、学校を卒業して帰ってきても、絶対やっていける！幸せな暮らしができる！（お金だけではないけどやっぱり経済的なものも必要だと思います）、お父さんお母さんたちはこの町に生まれて住んで、本当に幸せ！大好き！だからいつでも戻っておいで。楽しいよ」と私たちが心から楽しんでそう行動

していれば、必ず子供に伝わっていくと信じますし、そう教育していくことも大事だと思います。

そのために、若い人が住めるように、働き口を作るのが私たち大人の、そして、知恵がたくさんあるじいちゃん、ばあちゃん世代の「義務」だと思います。そのための山田先生の「地域経営」だと思いました。先生のお話しは観光のことを話しているようで、実は田舎の過疎地が今この危機にどう対処していくか、私たちは未来に向けて何が出来るか、という内容だと思いました。

とかく私も、町や国、人のせいにしたい気持ちがありますが、もういいだろう・・・、自分が変わらなければ、町も国も人も変わらない。何をしてもらったかではなく、「私」は何が出来るか、人のために子供たちのために何をしていけるか、ということの本気で考える大事な時間となりました。どうもありがとうございました。またどうぞよろしくお願いいたします。